事例No.	2113
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	群馬県みなかみ町

事例区分	DX

タグ	・消防・防災 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	土木・インフラ

事例内容・タイトル

雨量計、ライブカメラ等による災害時の情報収集の迅速化

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

133 雨量計、ライブカメラ等による災害時の情報収集の迅速化【群馬県みなかみ町】

事業の概要

○　近年、局地的な集中豪雨が頻発しているが、面積の広いみなかみ町では、現場に到着するまでに時間がかかり、情報収集に時間がかかるという課題があった。

○　そこで、町内各地の情報を迅速に把握するため、町内13カ所に雨量計やライブカメラ等を設置し、情報収集を可能にした。なお、一部の情報についてはHP上で住民等に向けて公開している。

○　また、1時間当たりの雨量が20mmを超えた場合や、積雪深が夜間10cmを超えた場合には、関係職員や除雪オペレーター等に自動的に通知される仕組みを構築している。



みなかみ町気象情報
ライブカメラ





【参考情報】 人口：1.8万人
関連URL：http://157.112.102.76/
（みなかみ町気象情報ライブカメラ）

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



（総務省）　取組の経緯・きっかけを教えてください。

町の面積が広く、災害発生時や除雪の出動判断のための情報を収集するのに、多くの時間と人員が必要という課題がありました。課題に対し、パトロールなしで情報が収集できるよう、また、関係者に迅速に周知が出来るよう気象情報システムの構築をしました。



（みなかみ町）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？

内閣府の地域活性化・きめ細かな臨時交付金(平成24年)を活用し、システムの開発と12箇所の観測所を設置しました。





事業の近況を教えてください。

令和3年度は652,504人のHPの訪問者があり、年々増加しています。現在までに防災のため観測所を2カ所増設しており、令和3年度設置した「布施観測所」では、ライブカメラにて路面状況を確認しながら、凍結防止剤散布装置の効果的な遠隔操作が可能となっています。



★担当：みなかみ町地域整備課★

令和3年度事業費　5,836千円